

第2回経済建設常任委員会 概要報告

年 月 日	令和7年1月27日	会場	第1委員会室	案件	委員会所管事項について
出席委員	山崎 真由美、清水 一夫、東 千春、倉澤 宏、水間 健詞				
委員外議員	川村 幸栄				
欠席委員					

〔報告事項〕

令和6年第4回定例会議案第25号「名寄市水道事業給水条例の一部改正について」委員会付託議案を審議

(建設水道部)

議案第25号「名寄市水道事業給水条例の一部改正について」

1) 前回の委員から質問を受けた施設等の耐震化について、次のとおり報告を受けた。

- ① 現行の耐震基準を満たしていない施設はアセットマネジメントに合わせた施設規模の適性化、ダウンサイジング、統廃合を踏まえて、まずは必要な箇所の耐震化を進める耐震化診断を行う必要がある。
- ② 新年度予算の中で反映されていない。耐震化診断等の費用は見込んでいない。
- ③ 上下水道管について現状の機能を維持していく。
- ④ 配水管路等について老朽管更新計画、下水道管路等はストックマネジメント計画に基づき老朽化した管路に合わせて耐震化を進め、急所施設の耐震化完了後、規模の大きい避難所等に接続する上下水道管路等の耐震化を実施することを目標に計画した。

1 Q 今回の料金改定で今後5年間の見通しについて伺う。

1 A 5年後見直しで料金を検討したい。
途中で計画等の立案があった場合、耐震化が見込めるかを考えたい。

2 Q どのようなスケジュールで市民周知を行っていくのか。

2 A 10月改定までの間、広報・HP、3月以降ポータルサイト等のメディアを使った広報。市民説明会は選挙があるので回数希望を含め検討していきたい。

3 Q 市民説明について伺う。

3 A 出前トーク、説明はイラストなど丁寧に提示したい。

4 Q なぜお金が足りなくなったのか、節水は今後どうしていくのか、その辺をどのように説明していくのか。

4 A 説明は、分かりやすいように説明していく。

5 Q 節水の意識が高まると収入が減る。見直し計画について伺う。

5 A 5年たった段階で収入状況を審議会に伝える。大きく変わるようであれば当然市民に説明したいと考えている。

2) 付託議案質疑を終結

3) 表決：「原案のとおり可決」を全会一致で結審した。

以上で令和7年第2回経済建設常任委員会を終了した。

報告者 経済建設常任委員会 副委員長 清水 一夫